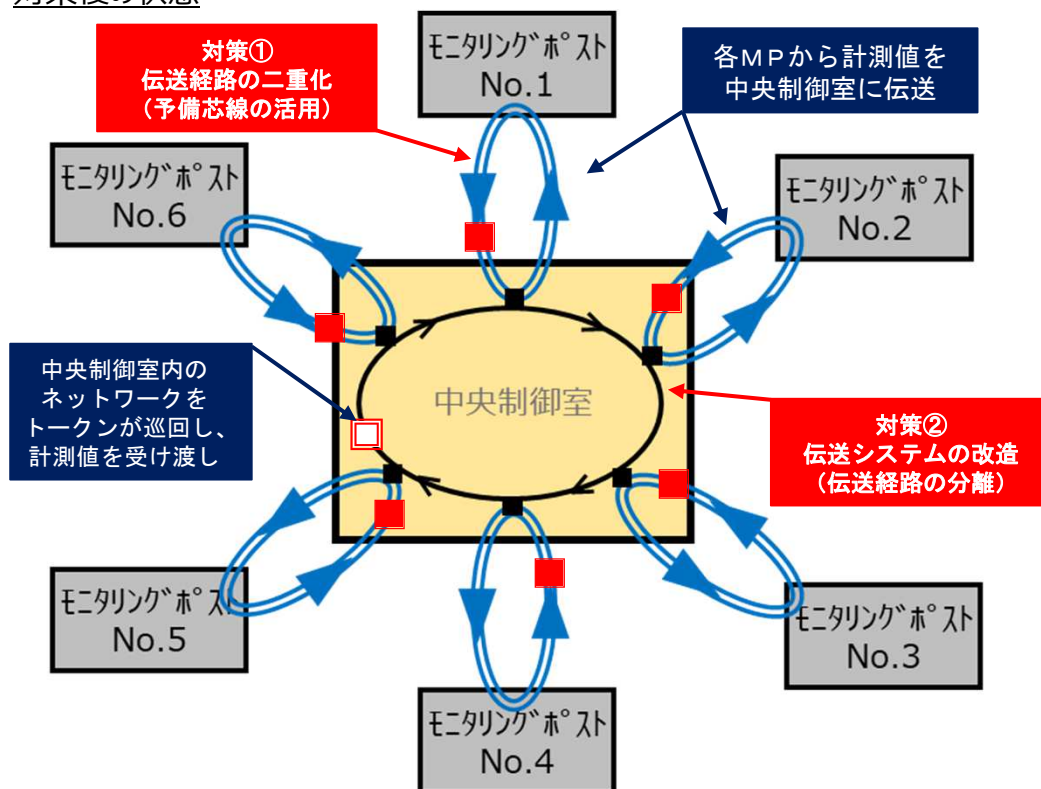


伝送経路の二重化および伝送システムの改造

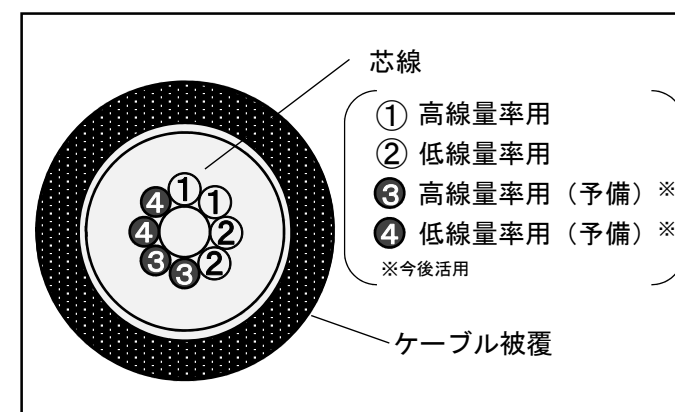
- 伝送ケーブルの芯線の一部が断線することにより、モニタリングポスト全台の計測値の伝送が同時に停止するリスクを低減するため、各モニタリングポストの計測値の伝送経路を二重化※する。
- 伝送ケーブルの芯線の断線により、モニタリングポスト全台の伝送が同時に停止しないように、各モニタリングポストから中央制御室へ計測値を送る経路と、中央制御室でトークンを巡回させる伝送経路を分離する。（2019年度内目途）

※伝送ケーブルは8本の芯線で構成され、計測値の伝送には4芯を使用、4芯を予備としていた。予備芯線を活用することにより伝送経路を二重化する。モニタリングポスト1台には、検出器が2台（低線量率・高線量率）あるが、計測値の伝送に使用する芯線は、検出器1台あたり2本（中央制御室からモニタリングポストへの伝送に1本。モニタリングポストから中央制御室への伝送に1本）。（右下図参考）

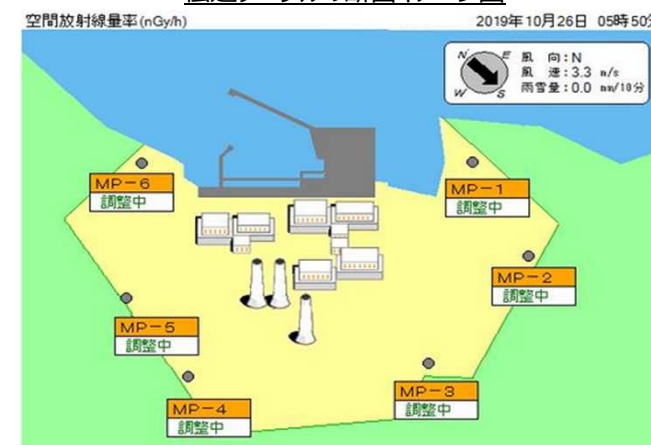
対策後の状態



参考



伝送ケーブルの断面イメージ図



モニタリングポスト配置図